

※文字の大きさは Meiryō UI /12 ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。  
 ※具体的に示したい図、写真、表、グラフなどは、(写真1) (表1) などと文中に記載し、右ページに(写真1) (表1) などと表記の上、貼り付けてください。  
 ※文章と図等を組み合わせながら作成することも可能です。各項目の枠の上下幅は変更可能です。  
 ※いずれの場合も、必ず A3 片面1枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは5MB以下としてください。

※事務局記入欄

【様式2】

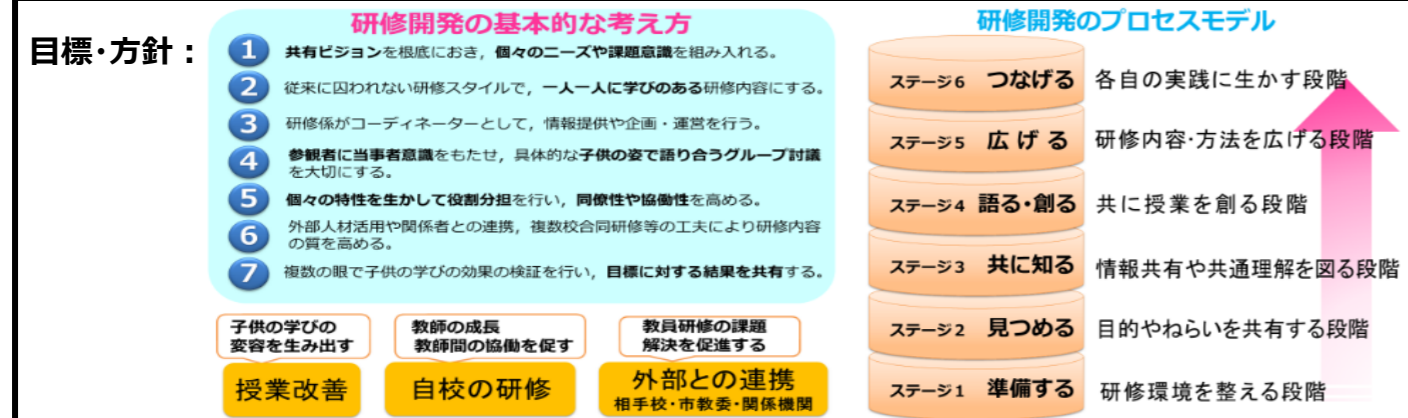
No. D-111

**部門名:** 校内研修プログラム開発・実践部門  
**エントリー名:** 鹿児島県阿久根市立尾崎小学校 山口 小百合 平成27年度中堅教員研修

**活動名:** 遠隔研修プログラムの開発  
 小規模校の教員研修の活性化

**解決すべき課題: 離島や山間部小規模校の教員研修を活性化し、教育の質の向上を図る**

離島や山間部の小規模校が抱える教育課題(教育機会の平等や教育内容の専門性、学び方の多様性など)の解決に教員研修の充実が求められる。→少人数で刺激が少なく、馴れ合いや形骸化の懸念。活性化が重要課題。小規模校同士の対面型合同研修や集合研修、島外研修→移動距離・時間・費用・補強を組む職員数等の問題で機会は少なく、全員同時には共有できない。そこで、**Webを活用した遠隔教育に着目した。教員研修への導入に当たり、中堅教員研修で学んだ同僚性・協働性を発揮する組織づくりの考え方を基にして、自校だけでなく地域全体の学校で高まるために、相手校や外部人材(大学や他県研究先進校)、市教委、地域等を巻き込んだマネジメントと遠隔研修の内容・方法を具体化する。**



**活動内容: 研修開発の「基本的な考え方」と「プロセスモデル」を基に、遠隔教育を教員研修に導入**

- SWOT分析から実態把握、学校の教育目標と育てたい資質・能力を全教員で設定、ビジョン共有
- 教員のニーズから研修内容と年間計画立案、Web会議の活用場面と効果的展開を考え実施
- 大学教員による遠隔教育についての講話、近隣の複数校や市教委と非対面型同時研修、学びの共有
- 遠隔合同授業参観→他校と共に授業デザインに全員参加→他校と授業実践→遠隔で合同授業研究
- 授業フィードバックからプログラム修正、教員の変容から研修効果を評価→個々の授業実践をサポート

**活動の成果: 遠隔教育に取り組む必要性への疑問→当事者意識の醸成と効果的活用を探究する姿**

- 「Webを通して遠方の優れた講師の話聴き、全教員で共有できた。」教員自身が有用性を実感
- 「これまで関わりのなかった小規模校同士が自校にいながら協働的に学ぶことができた。」他校との学び
- 子供「考えは同じでも多様な方法に気付いた。図を使うと考えを説明しやすい。」伝える・反応がある喜び
- 教員「複式の直接指導が増える、遠隔授業で学びの質を高める視点や実践上の課題を把握した。」
- 市教委と連携で推進委員会、市内全体での取組へ。他県と協同研究、実践発表会にWebで参加。

**アピールポイント(アイディアや工夫): 今ある教育資源(人材・機器等)の有効活用で課題解決**

- 離島・山間部の物理的制限を軽減、安価で容易に実践可能。人と人、学校と学校を結んで課題解決
- 個人ではなく全教員、近隣校の全教員、市教委、保護者を結んで、共に高まることができる。
- 離島・山間部の小規模校でも、他県の実践校と協同研究で主体的・対話的で深い学びを具現化
- 協働的な学びで授業の質の向上、極小規模校児童のコミュニケーション能力育成の指導の充実

